

『障害のある人のきょうだいとして育つ』とは？

ー 1 人のソーシャルワーカーのお話ー

両親の関心や育児の時間は、障害や難病などを抱えたご本人に、より多く注がれがちです。「きょうだい」とは、ご本人よりも親から注目してもらえる時間は少なく、ご本人のケアに関し当然のように理解や協力を求められ、そして親亡き後にはご本人を守ってほしいという周囲に期待されながら、成長していく存在です。

きょうだい研究、きょうだいの会、きょうだいによる著作や映画作品など、いくつかの活動があります。とはいってもきょうだい本人としては、自分の育ちを振り返ってどこか公の場で人に話すというのは、面はゆい思いもあって、なかなか機会に恵まれません。

私は縁あって、横浜市の児童発達センターに仕事をいただきましたので、保護者支援の一環で、きょうだいとして育った自分のプライベートな経験を語ってまいりました。聞きに来てくださるご家族から寄せられる思い、自分自身のライフステージ、親の老いなどを間近に見る日々の中で、内容は徐々に変化してきました。しかし、きょうだい自身がどのようなことを感じ、考え、自らの人生を選んできたのかということは、ぶれることなく継続している物語でもあります。

今回の講演では、現在進行形できょうだいと障害のあるお子さんの両方を育てておられる方々に、1人のきょうだいとしての思いをお届けしたいと思います。そして、毎日の子育ての中で少し肩の力が抜け、きょうだいに温かな視線が注がれたらいいなと願うものです。

■ 講 師：平野 亜紀（よこはま港南地域療育センター ソーシャルワーカー）

■ 日 時：令和8年11月7日（土）午前10時～11時45分（9時30分受付開始）

■ 場 所：光が丘区民センター 2階 集会室（洋室）

■ 参加費：無料

■ 参加形式：①集合形式 ②オンライン形式（Zoom 使用）

■ 申込み：10月1日（木）から10月29日（木）までにお申し込みください。

①集合形式 定員 100 名（先着順）

下記の URL または、こども発達支援センターにお電話にてお申し込みください。

②オンライン形式 定員なし

下記の URL からお申し込みください。

URL : <https://logoform.jp/form/G2rU/1792791>

QRコード



交通機関等

①鉄道

都営大江戸線 光が丘駅 地下1F直結

②バス

西武バス等 光が丘駅 1F正面玄関前

③駐車場

光が丘区民センターの北側道路の突き当たり左側が入口（有料：30分ごと100円）

【問い合わせ】

練馬区立こども発達支援センター

電話：3975-6251

住所：練馬区光が丘3-1-1

* 問合せ時間：平日午前9時から午後5時まで